

発行
四国三十六不動靈場会
「かんまん」編集委員会

メール
sikoku36fudo@gmail.com
ホームページ
<http://sikoku36fudo.org/>

かんまん

題字：三宅 佳林

四国三十六不動靈場広報誌

目次	
1P	行事案内・寺院紹介
2P	中日法要
3P	教学・巡拝感想
4P	先達紹介・編集後記

※各行事につきましては詳細が決まり次第ホームページに詳細を掲載しております。時間等はそちらをご参照ください。

新元号護摩祈祷法要	
日時	新元号一年五月一日(水)
場所	第一番大山寺（徳島県板野郡上板町神宅字大山）
当番	第三番 油屋美馬館（徳島県美馬市穴吹町穴吹字市ノ下一〇〇一六）

※その後約二ヶ月間各札所で祈祷法要を行なう予定です。



合掌

このほど、靈場会より、六波羅蜜修行次第が刊行され、その中の六波羅蜜修行和讚に大変心を打たれました。この和讚には、人に接する道が説かれていたのです。唱えていく内に、この言葉一つ一つが私の心に響き、胸にしみわたるほど、強烈に感動しました。

この人生は修行の道と心得、「心が和やかになるよう、この世の中争うことないよ。」といつも自分自身を反省しながら、お大師さま、お不動さま、お地蔵さまのお守りを頂いて、遍路修行をさせて頂いて参りました。

YouTubeチャンネル開設

<https://www.youtube.com/channel/UC3fc6Zj-pqBjbfbhYLQWbU1w>

上記URLもしくは
下記QRコードからアクセス可能です



この度、四国三十六不動靈場の広報活動に役立てればと思います。是非一度ご覧下さい。

幅広く四国三十六不動靈場ではYouTubeのチャンネルを開設させて頂きました。

行事案内

第七番札所 加茂不動院 (福性寺 奥の院)



寺院紹介

第七番札所 加茂不動院の紹介を致します。当寺院は、福性寺の奥の院で、福性寺より山道を約二キロほど登った所にあります。ご本尊は、漆谷不動明王とトルぐらいある大きな岩の側壁

です。ご本尊は、波切り不動明王さ

ます。そして、周囲が二十メー

トメートルぐらいの岩の側壁

（計 六十七名）

巡拝感想並びに功德体験を募集しております。是非貴重な体験をメールでお聞かせください。このページに掲載させて頂きます。

sikoku36fudo@gmail.com

「かんまん編集委員会」
三番最明寺・七番福性寺・十三番密厳寺

編集後記

胸飾玉・念珠玉の親玉（不動玉）授与所は、平成29年10月より下記札所に変更となりますのでご注意ください。
第6番 不動院（靈場会事務局）
TEL 0883-78-2917
先達関係のお問い合わせ（補任・住所変更など）は下記までお願いします。

第33番 浄土寺（靈場会先達事務）
TEL 087-899-0226

に弘法大師がその尊像を一夜にして膨つたと云われています。
加茂不動院本殿の近くに神通の滝があり、ここで、雨乞いをすると神通の滝におられる龍神さまが、必ず雨を降らしてくださると伝えられています。それゆえ、春秋の大祭には雨が降ることが多いので、地元近隣の氏子講中からの信仰を集めています。

大祭の行事は四組の当家が毎年交代で勤め、地域の文化として定着しています。

年中行事日程

◎星祭り

四月の最終土曜日午後二時（宵祭り）

日曜日午前十一時（本祭日）

九月第二土曜日午後二時（宵祭り）

日曜日午前十一時（本祭日）

毎月二十七日 午後二時より

◎秋季大祭

毎月二十七日 午後二時より

特別な授与品 病氣平癒祈念の持「」を授与しています。

この人生は修行の道と心得、「心が和やかになるよう、この世の中争うことないよ。」といつも自分自身を反省しながら、お大師さま、お不動さま、お地蔵さまのお守りを頂いて、遍路修行をさせて頂いて参りました。

このほど、靈場会より、六波羅蜜修行次第が刊行され、その中の六波羅蜜修行和讚に大変心を打たれました。この和讚には、人に接する道が説かれていたのです。唱えていく内に、この言葉一つ一つが私の心に響いて、胸にしみわたるほど、強烈に感動しました。

この度、四国三十六不動靈場の広報活動に役立てればと思います。是非一度ご覧下さい。

幅広く四国三十六不動靈場ではYouTubeのチャンネルを開設させて頂きました。

児玉孝士・福岡進秀夫・石原栄・中村功・松井俊貴・君江晃代・相川充宏・原田竹崎・松谷木谷・中村滝口・桐生深井・吉岡秀夫・天城常光・智加子・高嶋慎哉・鈴天城・山口光法・山口真理・江木弘子・高嶋良雄

河村順一・川北昭子・吉岡眞弓・江木弘子・高嶋良雄

三十周年記念事業 く中日法要く

平成三十年五月十六日(水)～十八日(金)に京都御室御所・總本山仁和寺に於きまして四国三十六不動靈場三十周年記念事業の中日法要を行いました。

三日間という長い期間にもかかわらず、たくさんの方に参拝していただきました。また、当初予定しております護摩堂での祈祷も追加の法要を行わさせていただきました。開白法要に続き参加いたしました。結願法要は香川の善通寺です。が発行日時の都合により次号での報告とさせて頂きます。



中門前のお砂踏み道場



金堂前での御法楽



法要開始前の集合写真



点火の様子



護摩堂内の様子



最後は皆様で集合写真



護摩堂に入りきれないほど盛況でした

索

三番 最明寺 下泉 全暁



剣とともに不動明王の姿で特徴的なものが左手に持つ索(なわ)です。修行者の邪魔をする悪い者を縛り上げる縄とする解釈があります、悪い者は魔物とも言えますし、私たちを苦しめ悩ませる煩惱でもあります。このような魔物や煩惱を捕縛して、右手に持つ智恵の剣で断ち切ってくれるということです。

剣とともに不動明王の姿で特徴的なものが左手に持つ索(なわ)です。修行者の邪魔をする悪い者を縛り上げる縄とする解釈があります、悪い者は魔物とも言えますし、私たちを苦しめ悩ませる煩惱でもあります。このような魔物や煩惱を捕縛して、右手に持つ智恵の剣で断ち切ってくれるということです。

これは自分の意志であるようで、実はお不動さまのはたらきであり、索はそれを象徴したものです。お不動さまは、索で私たちを信仰に導き、しっかりとお不動さまのもとに留めるのです。

栄養ドリンクのコマーシャルに「ファイト一発」といって、ザイールで同行者を助けるシーンがありますが、お不動さまの索は、私たちに投げかけられた、私たちを救う命綱と言えるかもしれません。

信仰を深めて、しっかりと索につかまり、お不動さまの功德をいたいものです。

また、索にはもう一つの意味があります。

皆さんは、ふとした縁でお不動さまのお参りに誘われたと思っていませんか。参拝を重ねているうちにだんだんと惹きつけられ、信仰がしつかりとしたものになっていったことでしょう。そしてやがては、不動信仰のうちに生かされている喜びを感じるようになるのです。

先達について参拝していた立場から、やがては信者さんを率いる先達として、人々を信仰に導くようになります。

これは自分の意志であるようで、索はそれを象徴したものです。お不動さまは、索で私たちを信仰に導き、しっかりとお不動さまのもとに留めるのです。

笠岡市の山本薦美大先達の不思議な靈験のお話でございます。

子供の頃、祖母に連れられて檀那寺の開龍寺によくお参りをしておりました。最初の靈的体験は、四才の時、戦争のためお寺の鐘が供出されました。夜寝ていると、何か大きい人が大きな地響きを上げて家の前を通つて行つたので、びっくりして起きて、そばに寝ていたおばあさんに、「何か通つて行つたよ」と聞いたら、「お寺のお地蔵さまが戦争に出かけられたのだ。」と答えてくれた。これが、靈的な体験の最初の出来事であった。

その後は、すくすくと成長、縁あって結婚し四男二女を設け、一心に働いておりました。あるとき、四男が「大変だ。」と慌てて帰つてしましました。ゴミ置き場に、お地蔵さまがあつた。お地蔵さまがつたとん頭がフランフラン頭が清々しくなるに従い、頭の酔いが消えてきたのです。それからはバスに乗つても平氣です。本当に名づらいで巡回遍路をするようになります。よく見るとその手には、真っ黒なお地蔵さまを握っています。そしておばあさんの話を

巡拝感想

山本薦美

不思議な靈験のお話

例祭を開き毎月拝むようになつてまいりました。しかし、車酔いが激しく、バスに乗つて、巡回遍路修習をすると言つことは、考えられなかつたのですが、あるとき、両備高速観光の日帰り遍路修行が有り、どうしても行かざるを得ない状況になりました。バスに乗つたとたん頭がフランフランしてどうしようもなくなり頭を抱え辛抱をしていました。やがて、第一番目のお寺に着きました。同行の人に支えてもらいながらお堂の所まで、やつとのことで着きました。

一心にお経を唱える。するとだんだん頭が清々しくなるに従い、頭の酔いが消えてきたのです。それからはバスに乗つても平氣です。本当に名づらいで巡回遍路をするようになります。よく見るとその手には、真っ黒なお地蔵さまを握っています。そしておばあさんの話を

(続く)